

平成 2 9 年 1 2 月 定例教育委員会 会議録

1 . 日 時 平成 2 9 年 1 2 月 2 6 日 (火) 開会 1 6 時 0 0 分 閉会 1 7 時 0 7 分

2 . 場 所 福井市役所 8 階第 3 委員会室

3 . 出 席 者

| | |
|----------|-------|
| 教育長 | 吉川 雄二 |
| 教育長職務代理者 | 佐藤 藤枝 |
| 教育委員 | 木村 敦子 |
| 教育委員 | 春木 伸一 |
| 教育委員 | 多田 和博 |

< 事務局職員 >

| | |
|----------|--------|
| 教育部長 | 村田 雅俊 |
| 少年対策参事官 | 北川 登 |
| 教育次長 | 齊藤 正直 |
| 生涯学習室長 | 桑原 浩明 |
| 図書館統括館長 | 渡邊 智洋 |
| 教育総務課長 | 久々津 久和 |
| 学校教育課長 | 小林 真由美 |
| 保健給食課長 | 川上 順子 |
| 青少年課長 | 下山 博幸 |
| スポーツ課長 | 村西 正明 |
| 文化財保護課長 | 天谷 賢一 |
| 図書館長 | 渡邊 正英 |
| みどり図書館館長 | 吉村 瞬潤 |
| 桜木図書館長 | 道佛 浩二 |
| 調整参事 | 大久保 容子 |
| 教育総務課副課長 | 前川 昌司 |
| 教育総務課主任 | 山本 恭唯 |
| 教育総務課主幹 | 吉田 浩一 |

4 . 議 題

報 告

(1) 1 2 月定例市議会の質疑について

(2) 順化小学校と順化公民館の複合化について

(3) 平成 2 8 年度児童生徒の問題行動調査等生徒指導上の諸問題に関する調査について (福井市確定値)

５．議事の経過

(１) 開会、教育長あいさつ

(２) 会議録署名委員の指名 木村 敦子 委員 春木 伸一 委員

(３) 議事の要旨

会議の冒頭、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 １ ３ 条第 ２ 項の規定により、佐藤藤枝委員を教育長職務代理者に指名した。

吉川教育長

まず、報告(１) １ ２ 月定例市議会の質疑について、事務局から説明を求める。

事務局

(教育部長)

１ ２ 月定例市議会の会期は、１ １ 月 ２ ７ 日から １ ２ 月 １ ９ 日の ２ ３ 日間であり、教育委員会関係で、今回議会に提出した議案は「平成 ２ ９ 年度福井市一般会計補正予算」および「福井市体育施設条例の一部改正について」の ２ 件である。

一般質問と予算特別委員会における質疑であるが、一般質問では全体として ２ ３ 人の議員から ７ ５ 件の質問があり、教育委員会関係では ７ 人の委員から ９ 件の質問があった。

以下、別冊資料にて一般質問の質疑の要旨を説明

予算特別委員会では全体として ５ つの会派から ５ ２ 件の質問があり、教育委員会関係では ４ つの会派から １ ０ 件の質問があった。

以下、別冊資料にて予算特別委員会の質疑の要旨を説明

吉川教育長

ただ今の報告について、何か質問等はないか。

春木委員

市の ４ ０ % 近くを占めている ５ ０ 代教職員が大量退職を迎えるとのことだが、その中で特別支援担当の先生はどれくらいの割合か。

吉川教育長

市内約 １ , ５ ０ ０ 人の教職員のうち、特別支援の教員は詳細な数字は分らないが、それ程割合は高くない。 ７ ０ 名前後。特別支援学級担任の先生も、全員が免許を持っているわけではないし、また免許を持っている先生が必ず特別支援担当ということでもない。

県の教員採用は学校種別採用なので、特別支援のような専門的な免許を持っている先生は、(県立の) 特別支援学校へ行ってしまう。県には義務教育のほうへ何人が回してほしいと、お願いしているところ。

佐藤委員

教員採用において、県では小中学校両方の免許を保持している人材を採用しているが、それに加えて、特別支援の免許も持っている人材の採用を提案してはどうか。

| | |
|-----------------|---|
| 吉川教育長 | 3つとなると、なかなか難しい。 |
| 事務局 (学校教育課長) | 大学の教員養成課程の中で、専門課程でなくても特別支援に関する授業があり、知識の習得を行っている。また、通常教育実習とは別に実際の教育現場に行き、そういった子どもたちの対応を経験する実習も行っているため、以前と比べると教員のスキルは上がっている。 |
| 吉川教育長 | <p>発達障害と診断されれば、保護者の了解を得た上で、医師の助言に基づいて個別支援計画を作成し、学校内で共通理解を図ることができる。一方で保護者に医療機関への受診を勧めても、「うちの子は障害じゃない」ということで、受け入れてもらえないケースもある。その場合は保護者との面談の中で、指導方法を計画立てていくこともある。</p> <p>一人ひとりに応じた指導というのは難しく、また、教員の多忙化解消といわれているが、子どもの指導に関してはしっかりと時間をとっていきたい。</p> |
| 吉川教育長 | 他に何かないか。 |
| | 特に意見なし |
| 吉川教育長 | 次に報告(2)順化小学校と順化公民館の複合化について、事務局から説明を求める。 |
| 事務局 (生涯学習室長) | <p>順化公民館は築40年を経過し、老朽化が著しく耐震診断もC判定で、また公民館自体も手狭で、広げるスペースも無い状況である。そういった状況の中で、順化小学校の中に公民館の機能を含めた複合施設への改修を計画しているところである。</p> <p>現在、公民館関係者やPTAの関係者に説明に入っている段階で、いろいろとご意見をいただいている。</p> |
| | 以下、資料に基づいて概要を説明 |
| 吉川教育長 | ただ今の報告について、何か質問等はないか。 |
| 佐藤委員 | 現在の公民館を取り壊すのは、複合化施設が完成した平成32年度以降か。 |
| 事務局 (生涯学習室長) | その通りである。 |
| 多田委員 | 地域活性化のモデルケースにと考えているようだが、他の市町でこのようなケースはあるのか。 |

| | |
|-----------------|---|
| 事務局 (生涯学習室長) | 大野市に今回のような事例がある。4、5年前に新たに開校したが、今のところ問題なく運営されているようだ。 |
| 吉川教育長 | 昼間は一般の市民が行き来できるようだが、セキュリティの面ではどうなのか。 |
| 事務局 (生涯学習室長) | 計画では公民館と学校の境に扉を設置し、日中は開放しておく予定である。大野市の事例でも日中は開放しているが、今のところトラブルは起きていないようだ。なお、今後の話し合いの中で変更になる可能性はある。 |
| 吉川教育長 | 現在、学校には防犯カメラが付いているが、公民館には付いているのか。 |
| 事務局 (生涯学習室長) | 最近新築された公民館には付いているが、古い公民館には付いていない。 |
| 春木委員 | 学校の統廃合の問題があるが、それを視野に入れて取り組んでいるのか。 |
| 事務局 (生涯学習室長) | 学校の統廃合の問題は、長い期間をかけて議論される問題であるため、一旦、切り離して複合化を検討している。相当の予算をかけるので、順化地区は直ちに統廃合の議論のテーブルには載ってこないと考えている |
| 事務局 (教育総務課長) | 順化小学校は児童数129名で、文部科学省の提示する標準適正規模からは少ないが、複合化を図ることも、一つの方向性として示せるのではないかと考えている。 |
| 吉川教育長 | <p>順化地区は、これから暫くは徐々に児童数が増えていく予想で、直ちに複式学級にはならない。国の進めている「社会に開かれた教育」を考えたときに、学校と生涯教育施設の複合化というモデルケースとして示せるのではないか。</p> <p>今でも中学校区教育ということで、地域との連携を図っているが、学校と公民館が一体化することで、より一層進められる。</p> |
| 佐藤委員 | 統廃合よりは複合化のほうが、地元には理解されやすい。 |
| 吉川教育長 | 学童保育と放課後子ども教室の一体化も、放課後子ども教室を公民館で行っているので、なかなか一体化できないが、複合化を行うことで、やりやすくなるだろう。 |
| 佐藤委員 | 放課後子ども教室の運営者である地区団体には、何らかの手当てはあるのか。 |
| 事務局 (教育部長) | 補助金の中から謝礼に充てることは可能だが、そうすると事業費が足りなくなるので、実際はボランティアと同様である。 |

| | |
|-----------------|---|
| 多田委員 | この計画はいい話なので進めるべきだと思うが、デメリットである検討課題もきちんと整理した上で、モデルケースの次につなげて欲しい。 |
| 木村委員 | 大ホールはランチルームとして使うのか。 |
| 事務局 (生涯学習室長) | ランチルームとしての活用も検討している。 |
| 吉川教育長 | 基本は各学級での給食だが、地元との交流という形で、大ホールでも給食を食べられるということ。 |
| 吉川教育長 | 他に何かないか。 |
| | 特に意見なし |
| 吉川教育長 | 次に報告(3)平成28年度児童生徒の問題行動調査等生徒指導上の諸問題に関する調査について(福井市確定値)事務局から説明を求める。 |
| 事務局 (学校教育課長) | 8月定例教育委員会において、速報値をご説明させていただいたが、数字はその時と変わっていない。なお、統計法第40条の規定により、一部の数値が非開示となっている。 |
| | 8月にも説明させていただいたが、特に小学校のいじめの件数が多くなっている。これはいじめの定義が変わったことによるものが大きい。 |
| 吉川教育長 | ただ今の報告について、何か質問等はないか。 |
| 春木委員 | 本人や保護者から教育委員会に直接訴えがあった場合は、どのように対応しているのか。 |
| 事務局 (学校教育課長) | まず、こちらで話を聞いてから学校に情報提供し、学校でも調査・指導にあたるので、資料の数値にも含まれている。 |
| 多田委員 | 解消しているというのは、誰が判断するのか。 |
| 事務局 (学校教育課長) | 学校内のいじめ対策委員会において、本人などに確認を取った上で解決が図れたと認識し、かつその状況が3ヵ月以上経過したものを解消とみなしている。 |
| 吉川教育長 | 他に何かないか。 |
| | 特に意見なし |

吉川教育長

予定していた審議事項は以上であるが、他に何かないか。

特になし

吉川教育長

最後に事務局から次回の日程についてお願いする。

事務局

(教育総務課主任)

次回の定例教育委員会について、1月25日(木)午後3時から、場所は福井市役所8階第1委員会室にて開催するので、ご出席いただきたい。

以上をもって会議を終了する。

平成30年1月25日

署名委員 木村 敦子

署名委員 春木 伸一

会議録作成職員 吉田 浩一